[redacted]

（様式第９）

口大医総第５９３号
平成２０年１０月２日

厚生労働大臣　殿

[redacted]
山口大学医学部附属病院長
松崎益徳

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第１２条の３の規定に基づき、平成１９年度の業務に関して報告します。

記

1　高度の医療の提供の実績　→　別紙参照（様式第 10）
2　高度の医療技術の開発及び評価の実績　→　別紙参照（様式第 11）
3　高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	３７　人

（注）　前年度の研修医の実数を記入すること。
4　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
　→　別紙参照（様式第 12）
5　診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
6　他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
　→　別紙参照（様式第 13）
7　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種		員数
医師	183 人	98.6 人	281.6 人	看護業務補助	20 人	診療エックス線技師		0 人
歯科医師	6 人	10.4 人	16.4 人	理学療法士	6 人	臨床検査	臨床検査技師	46 人
薬剤師	27 人	8 人	35 人	作業療法士	3 人		衛生検査技師	0 人
保健師	0 人	0 人	0 人	視能訓練士	5 人		その他	0 人
助産師	21 人	0 人	21 人	義肢装具士	0 人	あん摩マッサージ指圧師		0 人
看護師	563 人	15.5 人	578.5 人	臨床工学技士	6 人	医療社会事業従事者		1 人
准看護師	1 人	0 人	1 人	栄養士	0 人	その他の技術員		8 人
歯科衛生士	1 人	0 人	1 人	歯科技工士	1 人	事務職員		184 人
管理栄養士	6 人	1 人	7 人	診療放射線技師	26 人	その他の職員		43 人

（注）　1　報告を行う該当年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
　　2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
　　3　「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下２位を切り捨て、小数点以下１位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。
8　入院患者、外来患者及び調剤の数
　歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
１日当たり平均入院患者数	５６６.０人	１６.７人	５８２.７人
１日当たり平均外来患者数	１,２９１.０人	４６.１人	１,３３７.１人
１日当たり平均調剤数	２，２９３剤		

（注）　1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
　　2　入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
　　3　外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
　　4　調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

（様式第10）

高度の医療の提供の実績

1　先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮線筋症核出術	有・(無)	人
膝靱帯再建手術における画像支援ナビゲーション	有・(無)	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・(無)	人
胎児心超音波検査	(有)・無	1人
インプラント義歯	有・(無)	人
顎顔面補綴	有・(無)	人
顎関節症の補綴学的治療	有・(無)	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電気刺激療法	有・(無)	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・(無)	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・(無)	人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・(無)	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・(無)	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・(無)	人
ＣＴガイド下気管支鏡検査	有・(無)	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・(無)	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのＤＮＡ診断	有・(無)	人
ＳＤＩ法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・(無)	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・(無)	人
ＨＤＲＡ法又はＣＤ－ＤＳＴ法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・(無)	人
子宮頸部前がん病変のＨＰＶ－ＤＮＡ診断	有・(無)	人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・(無)	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・(無)	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・(無)	人
成長障害のＤＮＡ診断	有・(無)	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・(無)	人
乳房温存療法における鏡視下腑窩郭清術	(有)・無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・(無)	人
骨髄細胞移植による血管新生療法	(有)・無	0人
ミトコンドリア病のＤＮＡ診断	有・(無)	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・(無)	人
神経変性疾患のＤＮＡ診断	有・(無)	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	(有)・無	6人
重粒子線治療	有・(無)	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・(無)	人
31燐-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・(無)	人
神経芽腫のＲＮＡ診断	有・(無)	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・(無)	人
重症ＢＣＧ副反応症例における遺伝子診断	有・(無)	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・(無)	人
膵腫瘍に対する腹腔鏡補助下膵切除術	有・(無)	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・(無)	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・(無)	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・(無)	人
エキシマレーザー冠動脈成形術	有・(無)	人
活性化Tリンパ球移入療法	有・(無)	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・(無)	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・(無)	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・(無)	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・(無)	人
ＨＬＡ抗原不一致血縁ドナーからのＣＤ３４陽性造血幹細胞移植	有・(無)	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるＣＴ透視下の経皮的椎間板減圧術	有・(無)	人
ケラチン病の遺伝子診断	有・(無)	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・(無)	人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・(無)	人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・(無)	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	(有)・無	１３人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・(無)	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・(無)	人
超音波骨折治療法	有・(無)	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・(無)	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靱帯組織の凍結保存	有・(無)	人
Ｘ線ＣＴ画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・(無)	人
定量的ＣＴを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・(無)	人
膀胱水圧拡張術	有・(無)	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・(無)	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・(無)	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・(無)	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・(無)	人
腹腔鏡下直腸固定術	有・(無)	人
骨移動術による関節温存型再建	有・(無)	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	有・(無)	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・(無)	人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・(無)	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	(有)・無	２１人
リアルタイムＰＣＲを用いた迅速診断	有・(無)	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・(無)	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・(無)	人
先天性難聴の遺伝子診断	有・(無)	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・(無)	人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・(無)	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・(無)	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・(無)	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・(無)	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・(無)	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・(無)	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・(無)	人
カフェイン併用化学療法	有・(無)	人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・(無)	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block（ＭＡＢ）治療	有・(無)	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・(無)	人
骨腫瘍のＣＴ透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・(無)	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・(無)	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・(無)	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・(無)	人
副甲状腺内活性型ビタミンＤ（アナログ）直接注入療法	有・(無)	人
画像支援ナビゲーション手術	(有)・無	１３人
眼底三次元画像解析	(有)・無	０人

(注) 1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	２４人	・モヤモヤ病（ウィリス動脈輪閉塞症）	３２人
・多発性硬化症	４８人	・ウェゲナー肉芽腫症	８人
・重症筋無力症	４６人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	３３人
・全身性エリテマトーデス	８５人	・多系統萎縮症	１６人
・スモン	１人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	０人
・再生不良性貧血	２６人	・膿疱性乾癬	３人
・サルコイドーシス	３８人	・広範脊柱管狭窄症	９人
・筋萎縮性側索硬化症	２０人	・原発性胆汁性肝硬変	３８人
・強皮症,皮膚筋炎及び多発性筋炎	７３人	・重症急性膵炎	６人
・特発性血小板減少性紫斑病	４３人	・特発性大腿骨頭壊死症	５３人
・結節性動脈周囲炎	９人	・混合性結合組織病	２０人
・潰瘍性大腸炎	１２０人	・原発性免疫不全症候群	５人
・大動脈炎症候群	１２人	・特発性間質性肺炎	８人
・ビュルガー病	２９人	・網膜色素変性症	１５人
・天疱瘡	１２人	・プリオン病	３人
・脊髄小脳変性症	２９人	・原発性肺高血圧症	５人
・クローン病	６３人	・神経線維腫症	９人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	２人	・亜急性硬化性全脳炎	０人
・悪性関節リウマチ	８人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	１人
・パーキンソン病関連疾患	１２７人	・特発性慢性肺血栓塞栓症(肺高血圧型)	０人
・アミロイドーシス	６人	・ライソゾーム病（ﾌｧﾌﾞﾘｰ[Fabry]病）含む	２人
・後縦靭帯骨化症	７７人	・副腎白質ジストロフィー	１人
・ハンチントン病	３人		

(注) 「取扱い患者数」欄には,前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	７回, １１症例	
剖検の状況	剖検症例数　４７　例	剖検率　２１．５　％

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
ラットモデルを用いた新規肝性脳症モデルの開発と解析	瀬川 誠	第一内科	2,100,000	㊎補委	文部科学省 科学研究費補助金
メダカを用いた細胞のリアルタイム動態観察システム、および薬剤スクリーニングシステムの開発	寺井 崇二	第一内科	1,000,000	補㊎	財団法人ちゅうごく産業創造センター
効率的な骨髄細胞を用いた肝臓再生療法開発のための基盤研究	寺井 崇二	第一内科	1,700,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
高輝度白色LED技術を基盤とする低侵襲治療機器の開発（高演色性白色LEDを用いた内視鏡の開発と消化器疾患の診断・治療への応用）（知的クラスター創成事業）	檜垣 真吾	第一内科	9,000,000	補㊎	財団法人やまぐち産業振興財団
微細構造解析からの骨髄中の肝幹細胞の動態研究	山本 直樹	第一内科	1,700,000	㊎補委	文部科学省 科学研究費補助金
肝硬変に対する自己骨髄細胞の線維化溶解メカニズムの解明と癌病変への影響について	坂井田 功	第一内科	5,300,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
癌幹細胞の発生分化制御機構の解析	坂井田 功	第一内科	1,600,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
高輝度白色LED技術を基盤とする低侵襲治療機器の開発（肝臓再生療法に有用な間葉系幹細胞自動分離装置の開発）（知的クラスター創成事業）	坂井田 功	第一内科	38,700,000	補㊎	財団法人やまぐち産業振興財団
C型慢性肝炎の肝発癌における肝ミトコンドリア障害の意義	是永 匡紹	第一内科	2,100,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ギャップ結合リモデリングの制御を標的とした不整脈の新しい治療の開発	大草 知子	第二内科	2,200,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計10

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
防風通聖散およびその生薬成分の肝脂肪化抑制機構の研究	内田 耕一	第一内科	1,800,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
C 型肝炎における鉄代謝異常と肝発癌	日野 啓輔	第一内科	1,400,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
慢性心不全におけるメタボリック症候群の意義に関する研究	松﨑 益徳	第二内科	1,000,000	㊎補委	厚生労働省 科学研究費補助金
突発性心筋症に関する調査研究	松﨑 益徳	第二内科	1,400,000	㊎補委	厚生労働省 科学研究費補助金
光技術を基盤とする高性能診断機器の開発（近赤外線、超音波等を利用する高性能動脈硬化診断システムの開発）（知的クラスター創成事業）	松﨑 益徳	第二内科	45,000,000	補㊏委	財団法人やまぐち産業振興財団
心筋収縮不全の治療標的としての Ca2+制御蛋白	松﨑 益徳	第二内科	1,800,000	補㊏委	国立循環器病センター
催不整脈右室心筋症（ARVC）の病態と治療に関する研究	松﨑 益徳	第二内科	800,000	補㊏委	国立循環器病センター
細胞内ナノドメイン機能制御による心不全治療法の開発	松﨑 益徳	第二内科	28,800,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
舌組織由来幹細胞による心筋再生療法の開発	三浦 俊郎	第二内科	1,300,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
致死的不整脈治療標的としてのリアノジン受容体	山本 健	第二内科	1,600,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
悪性高熱症、致死的不整脈に共通したリアノジン受容体異常の分子学的解明と治療	小林 茂樹	第二内科	1,800,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計11

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
リアノジン受容体安定化による慢性心不全の分子標的療法の確立	矢野 雅文	第二内科	3,900,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
拡張不全の新しいメカニズム：細胞内カルシウム過負荷とタイチンの重要性	矢野 雅文	第二内科	1,600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
冠動脈粥腫の不安定性を定量評価しうるマルチファンクショナル血管内エコー法の開発	廣 高史	第二内科	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Atypical PKC 依存性 新規糖輸送促進機構の解明	江本 政広	第三内科	3,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
インスリン抵抗性による膵β細胞小胞体ストレスと糖尿病発症に関する研究	谷澤 幸生	第三内科	6,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
造血器悪性腫瘍における小胞体ストレス応答蛋白の解析	湯尻 俊昭	第三内科	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
小胞体ストレスによるインスリン分泌障害と糖尿病治療法開発	谷澤 幸生	第三内科	4,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
短時間の過酸化水素刺激による骨髄細胞の機能増強とそれに基づく血管新生療法の開発	久保 正幸	第一外科	1,400,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
血管再生における虚血組織環境因子が骨髄幹細胞の生存と分化に及ぼす影響	古谷 彰	第一外科	1,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
細胞レベルでの解析による骨髄細胞移植治療の心機能改善機序の解明	森景 則保	第一外科	1,400,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
メカニカルストレスが心筋再生に及ぼす影響とその分子・細胞学的機序の解明	美甘 章仁	第一外科	2,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
糖尿病、高脂血症による骨髄幹細胞の機能障害に関する分子機序の解明と治療法の開発	李 桃生	第一外科	1,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計12

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己骨髄細胞を用いた血管再生療法の治療効果に影響を及ぼす因子の同定	濱野　公一	第一外科	6,900,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
光技術を基盤とする高性能診断機器の開発（遺伝子解析データベースを基盤とした肝癌における個別化医療システムの開発）（知的クラスター創成事業）	岡　正朗	第二外科	45,000,000	補㊎委	財団法人やまぐち産業振興財団
科学技術連携施策群の効果的・効率的な推進　遺伝子・細胞治療に携わる輪唱研究者育成	岡　正朗	第二外科	4,789,200	補㊎委	文部科学省
高度救命救急体制の普及促進に関する調査研究	岡　正朗	第二外科	5,000,000	補㊎委	山口県
肝癌の網羅的遺伝子および蛋白解析に基づく新規診断と創薬の研究開発	岡　正朗	第二外科	4,100,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
肝細胞癌の発癌関連タンパク質の検討と血清自己抗体による予後診断システムの開発	高島　元成	第二外科	1,600,000	㊎補委	文部科学省 科学研究費補助金
DNA修復酵素－メチルグアニンメチル基転移酵素をターゲットとした膵癌分子標的治療	上野　富雄	第二外科	2,300,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
大腸癌化学療法における抗癌剤の毒性と患者の遺伝子多型に関する研究	裕　彰一	第二外科	1,800,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
プロテオミクスに基づいた食道癌診断システムの開発	武田　茂	第二外科	1,700,000	㊎補委	日本学術振興会 科学研究費補助金
眼組織の再生に関する研究	西田　輝夫	眼科	5,000,000	補㊎委	独立行政法人科学技術振興機構
創傷治癒過程における角膜実質ネットワークと細胞動態の評価	森重　直行	眼科	2,100,000	㊎補委	文部科学省 科学研究費補助金

小計11

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
角膜ヘルペス患者涙液及び前房水中の単純ヘルペスウィルス由来タンパクの検出	山田 直之	眼科	1,700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
網羅的プロテオーム解析による重症頭部外傷患者の脳障害と低体温効果の解明	前川 剛志	先進救急医療センター	3,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
侵襲の運命決定因子 HMGB1 を分子標的とした究明的治療法の開発	前川 剛志	先進救急医療センター	3,000,000	補 委	厚生労働省 科学研究費補助金
脳の発達にとって良い環境と悪い環境が鑑別できるか？	富士岡 隆	先進救急医療センター	1,800,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
超音波組織トラッキング法による左室捻れ運動の検討	村田 和也	検査部	1,100,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
排卵過程における血管新生と血管内皮前駆細胞の関与	松岡 亜希	産科婦人科	2,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
ゲノム2次元電気泳動法による子宮筋腫特異的なゲノム変化の同定	山縣 芳明	産科婦人科	2,700,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
ギメラシルのDNA損傷応答を標的とした放射線増強効果とその治療応用への基礎的検討	三原 眞理子	歯科口腔外科	1,600,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
連続気孔構造を有する炭酸アパタイトフォームの顎骨再建材料としての有用性	上山 吉哉	歯科口腔外科	4,000,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
Array-based CGH 法を用いた口腔扁平上皮癌のゲノム解析	内田 堅一郎	歯科口腔外科	1,000,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌患者における CYP3A4 遺伝子多型の関連	橋本 智子	耳鼻咽喉科	1,100,000	補 委	文部科学省 科学研究費補助金
いびきの音響解析による睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原 浩貴	耳鼻咽喉科	600,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計12

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
熱ショック応答による内耳保護機構の解明と臨床応用	山下 裕司	耳鼻咽喉科	2,100,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科	1,100,000	㊎ 委	厚生労働省 科学研究費補助金
周産期慢性低酸素血症が児の発育・発達に及ぼす影響についての研究	住江 正大	周産母子センター	1,500,000	㊎ 委	文部科学省 科学研究費補助金
双胎間輸血症候群の発症機序と病態の解明	中田 雅彦	周産母子センター	600,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヒスチジン・ヒスタミンによる抗炎症作用と脊髄保護効果に関する研究	山下 敦生	手術部	1,600,000	㊎ 委	文部科学省 科学研究費補助金
癌再発・進展における血管内皮前駆細胞の役割	上田 和弘	手術部	1,500,000	㊎ 委	文部科学省 科学研究費補助金
気管支喘息での単球マクロファジーのロイコトリエン受容体の気道リモデリングへの関与	市山 高志	小児科	1,100,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
インフルエンザ脳症の発症因子の解明とそれに基づく発症前診断方法の確立に関する研究	市山 高志	小児科	2,000,000	㊎ 委	厚生労働省 科学研究費補助金
プリオン病及び遅発性ウィルス感染症に関する調査研究	市山 高志	小児科	2,500,000	㊎ 委	厚生労働省 科学研究費補助金
急性脳炎のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明から新たな治療法確立に向けた研究	古川 漸	小児科	600,000	㊎ 委	厚生労働省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患移管する調査研究	古川 漸	小児科	900,000	㊎ 委	厚生労働省 科学研究費補助金
血液神経関門を構成する微小血管内皮細胞の機能解析	佐野 泰照	神経内科	1,700,000	㊎ 委	文部科学省 科学研究費補助金

小計12

（様式第11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
自己免疫性末梢神経疾患における新たな抗糖脂質抗体の同定	古賀　道明	神経内科	1,700,000	㊎委	文部科学省 科学研究費補助金
免疫性神経疾患移管する調査研究	神田　隆	神経内科	1,000,000	㊎委	厚生労働省 科学研究費補助金
スモンに関する調査研究	川井　元晴	神経内科	700,000	㊎委	厚生労働省 科学研究費補助金
脊柱靱帯骨化症に関する調査研究	田口　敏彦	整形外科	1,000,000	㊎委	厚生労働省 科学研究費補助金
双極性障害における選択的スプライシング機構異常と薬物治療反応性に関する研究	江頭　一輝	精神科神経科	1,300,000	㊎委	文部科学省 科学研究費補助金
うつ病の視床下部－下垂体－副腎系機能異常とグルココルチコイド・ホルモン受容体との関係	渡邉　義文	精神科神経科	1,000,000	補㊎	国立精神・神経センター
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	渡邉　義文	精神科神経科	610,000	補㊎	国立精神・神経センター
ヒトを対象にした精神疾患の生物学的病態解明に関する研究	渡邉　義文	精神科神経科	3,000,000	㊎委	厚生労働省 科学研究費補助金
心肺停止蘇生後における予後予測マーカー(GAP)の測定	金子　唯	先進救急医療センター	1,900,000	㊎委	文部科学省 科学研究費補助金
経時的生体内活性酸素種測定法の確立および活性酸素種傷害の解明と治療薬の選択	藤田　基	先進救急医療センター	1,300,000	㊎委	文部科学省 科学研究費補助金
脳低温療法の有効性−プロテオーム解析を用いた脳損傷と脳保護効果の検討	小田　泰崇	先進救急医療センター	1,300,000	㊎委	文部科学省 科学研究費補助金
ICU入室患者に対するせん妄の新しい診断法の有用性と危険因子	鶴田　良介	先進救急医療センター	1,200,000	㊎委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計12

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
くも膜下出血後の脳血管攣縮における脂質の役割－血管の攣縮因子と拡張因子の解明－	白尾 敏之	脳神経外科	2,300,000	㊎ 委	文部科学省 科学研究費補助金
無症候性脊髄脂肪腫の手術適応に関する研究	鈴木 倫保	脳神経外科	1,000,000	補 ㊎	国立精神・神経センター
血管内微細振動子による血栓の破砕と低侵襲回収療法の開発	加藤 祥一	脳神経外科	1,000,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ラットの脳性麻痺による痙縮モデルを利用した、中枢神経の病的線維連絡の解明	野村 貞宏	脳神経外科	800,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
局所脳冷却による大脳神経生理機能の解明と制御－臨床応用をめざして－	鈴木 倫保	脳神経外科	7,100,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
QSPECTに基づく脳血管反応性改善の評価法の妥当性	鈴木 倫保	脳神経外科	1,700,000	補 ㊎	国立循環器病センター
遺伝子多型が腫瘍の進展・予後および腫瘍細胞の癌関連遺伝子変化に及ぼす影響	坂野 滋	泌尿器科	1,500,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
中心体複製異常を指標とした新しい膀胱癌の診断治療方針決定システムの確立をめざして	松山 豪泰	泌尿器科	4,900,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
発癌から顕性前立腺癌に至る遺伝子および遺伝子周囲変異の検索	松山 豪泰	泌尿器科	500,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
熱媒体の人体影響とその治療法に関する研究	武藤 正彦	皮膚科	900,000	補 ㊎	山口県
乾癬発症関連遺伝子群の解明と最適化治療開発への応用	武藤 正彦	皮膚科	1,700,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
北米放射線学会分散型サーバを応用した専門医教育のためのオンライン電子教材の構築	松永 尚文	放射線科	1,700,000	㊎ 委	日本学術振興会 科学研究費補助金

小計12

（様式第 11）

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
中枢神経系の虚血耐性機序の解明とクロストレランスの治療応用	坂部 武史	麻酔科蘇生科	4,200,000	㊞補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
エリスロポエチンとインスリン様成長因子1の脊髄保護効果の検討とシグナル伝達の解明	松本 美志也	麻酔科蘇生科	1,900,000	㊞補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
全身の炎症反応が脳虚血および低体温による脳保護効果へ及ぼす修飾作用	石田 和慶	麻酔科蘇生科	1,700,000	㊞補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
一過性脳虚血再潅流後の脳血管反応性変化に及ぼす活性酸素種の影響に関する研究	飯田 靖彦	麻酔科蘇生科	1,400,000	㊞補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
虚血性中枢神経障害の病態解明と好中球エラスターゼ阻害薬の効果に関する検討	平田 孝夫	麻酔科蘇生科	1,500,000	㊞補 委	文部科学省 科学研究費補助金
癌予防的診断のためのゲノムコピー数ハイスループット解析システム開発	末廣 寛	臨床検査医学	2,000,000	補 ㊞委	独立行政法人科学技術振興機構
乳癌 3D-CT リンフォグラフィ下センチネルリンパ節同定に基づく個別化治療の開発	長島 由紀子	臨床試験支援センター	800,000	㊞補 委	文部科学省 科学研究費補助金
細胞表面抗原分子を標的とした免疫治療	日野田 裕治	臨床検査医学	9,000,000	㊞補 委	文部科学省 科学研究費補助金
高血圧性心肥大形成過程におけるTLR4の役割	梅本 誠治	臨床試験支援センター	1,600,000	㊞補 委	日本学術振興会 科学研究費補助金
ヘモビジランスのための病院内輸血副作用監視体制に関する研究	藤井 康彦	輸血部	9,000,000	㊞補 委	厚生労働省 科学研究費補助金

小計10

計102

（注）1 国、地方公共団体又は公益法人からの補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」蘭は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託に場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
International Journal of Oncology 2007;31:1345-50	Proteomics finding heat shock protein 27 as a biomarker for resistance of pancreatic cancer cells to gemcitabine.	Mori-Iwamoto S, Kuramitsu Y, Ryozawa S, et al.	第一内科
Biochemical and Biophysical Research Communications 2007;364:801-7	Telmisartan prevents hepatic fibrosis and enzyme-altered lesions in liver cirrhosis rat induced by a choline-deficient L-amino acid-defined diet	Jin H, Yamamoto N, Uchida K, Terai S, Sakaida I	第一内科
Liver international 2007;27:845-53	Stronger Neo-Minophagen C, a glycyrrhizin-containing preparation, protects liver against carbon tetrachloride-induced oxidative stress in transgenic mice expressing the hepatitis C virus polyprotein	Hidaka I, Hino K, Korenaga M, et al.	第一内科
Journal of Gastroenterology 2007;42:475-84	The iron chelator deferoxamine causes activated hepatic stellate cells to become quiescent and to undergo apoptosis	Jin H, Terai S, Sakaida I	第一内科
Hepatology Research 2007;37:647-55	Importance of inhibitor of DNA binding/differentiation 2 in hepatic stellate cell differentiation and proliferation	Tajima K, Terai S, Takami T, et al .	第一内科
Hepatology Research 2007;37:510-6	The effect of supplementation with branched-chain amino acids in patients with liver cirrhosis	Urata Y, Okita K, Korenaga K, Uchida K, Yamasaki T, Sakaida I	第一内科
Cell and Tissue Research 2007;327:463-70	Administration of fibroblast growth factor 2 in combination with bone marrow transplantation synergistically improves carbon-tetrachloride-induced liver fibrosis in mice	Ichikawa T, Terai S, Urata Y, et al.	第一内科

小計 7

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Am Coll Cardiol	Scavenging Free Radicals by Low-Dose Carvedilol Prevents Redox-Dependent Ca2+ Leak Via Stabilization of Ryanodine Receptor in Heart Failure	Mamoru Mochizuki, Masafumi Yano, Tetsuro Oda, Hiroki Tateishi, Shigeki Kobayashi, Takeshi Yamamoto, Yasuhiro Ikeda, Tomoko Ohkusa, Noriaki Ikemoto, Masunori Matsuzaki	第二内科
Circ J	Beneficial effects of a dual L- and T-type Ca2+ channel blocker efonidipine on cardiomyopathic hamsters	Shinsuke Suzuki, Tomoko Ohkusa, Satoshi Takebayashi, Takashi Sato, Masa-aki Yoshida, Masafumi Yano,Katsushige Ono, Masunori Matsuzaki	第二内科
Circulation	Identification of Target Domains of the Cardiac Ryanodine Receptor to Correct Channel Disorder in Failing Hearts	Takeshi Yamamoto, Masafumi Yano, XiaoJuan Xu, Hitoshi Uchinoumi, Hiroki Tateishi, Mamoru Mochizuki, Tetsuro Oda, Shigeki Kobayashi, Noriaki Ikemoto, Masunori Matsuzaki	第二内科
J Am Coll Cardiol	Localized Elevation of Shear Stress is Related to Coronary Plaque Rupture: A Three-dimensional Intravascular Ultrasound Study with In Vivo Color Mapping of Shear Stress Distribution	Yusaku Fukumoto, Takafumi Hiro, Takashi Fujii, Genta Hashimoto, Jutaro Yamada, Takayuki Okamura, Tatsuhiro Fujimura, Masunori Matsuzaki	第二内科

小計 4

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Heart Circ Physiol	Altered Expression of Connexin43 Contributes to the Arrhythmogenic Substrate During the Development of Heart Failure in Cardiomyopathic Hamster	Takashi Sato, Tomoko Ohkusa, Haruo Honjo, Shinsuke Suzuki, Masa-aki Yoshida, Yuko S. Ishiguro, Harumichi Nakagawa, Masatoshi Yamazaki, Masafumi Yano, Itsuo Kodama, Masunori Matsuzaki	第二内科
Br J Haematol. 136:857-9, 2007	Nephrotic syndrome associated with thrombotic microangiopathy following allogeneic stem-cell transplantation for myelodysplastic syndrome.	Nakamura Y 他	第三内科
Bone Marrow Transplant. 40:395-6, 2007.	Successful engraftment of the second reduced-intensity conditioning cord blood transplantation (CBT) for a patient who developed graft rejection and infectious complications after the first CBT for AML.	Nakamura Y	第三内科
Leuk Res. 32:195-7, 2008.	Alteration of adrenergic signals during peripheral blood stem cell mobilization induced by granulocyte colony-stimulating factor.	Yujiri T 他	第三内科
Tohoku J Exp Med. 214:159-63, 2008.	Allogeneic peripheral blood stem cell transplantation from related donors mismatched at 2 HLA loci in the host-versus-graft direction.	Ando T 他	第三内科
Cell Struct Funct	Endothelial cells constituting blood-nerve barrier have highly-specialized characteristics as barrier forming cells.	Sano Y, et al	神経内科

小計 6

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Arch Neurol	Continuous spectrum of pharyngeal-cervical-brachial variant of Guillain-Barré syndrome.	Nagashima T, Koga M, et al	神経内科
Biochemistry	A *Haemophilus influenzae* strain associated with Fisher syndrome expresses a novel disialylated ganglioside mimic.	Houliston RS, Koga M, et al	神経内科
Med Mol Morphol	Inactivation of amyloid-enhancing factor (AEF): study on experimental murine AA amyloidosis	Omoto M, et al	神経内科
Pathol Int	Immunohistochemical and immunochemical study of amyloid in liver affected by systemic Aλ amyloidosis with antibodies against three different regions of immunoglobulin λ light chain.	Kiyama M, et al	神経内科
Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry.	State-dependent changes in the expression levels of NCAM-140 and L1 in the peripheral blood cells of bipolar disorders, but not in the major depressive disorders.	Wakabayashi Y	精神科
t J Psychiatr Res.	Altered expression of neurotrophic factors in patients with major depression.	Otsuki K	精神科
J Affect Disord.	Increased expression of splicing factor SRp20 mRNA in bipolar disorder patients.	Watanuki T	精神科
Brain Dev. 2008 Feb	Dexamethasone decreases cerebrospinal fluid soluble tumor necrosis factor receptor 1 levels in bacterial meningitis.	Ichiyama T	小児科
Brain Dev. 2008 Jan	Serum and CSF levels of cytokines in acute encephalopathy following prolonged febrile seizures.	Ichiyama T	小児科

小計 9

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Crit Care Med. 2007 Oct	Nuclear factor-kappaB activation in peripheral blood mononuclear cells in children with sepsis.	Hotta N	小児科
Pediatr Infect Dis J. 2007 Jun	Matrix metalloproteinase-9 and tissue inhibitors of metalloproteinases 1 in influenza-associated encephalopathy.	Ichiyama T	小児科
Clin Exp Allergy. 2007 Apr	Cysteinyl leukotrienes enhance tumour necrosis factor-alpha-induced matrix metalloproteinase-9 in human monocytes/macrophages.	Ichiyama T	小児科
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	The reduction of hemodynamic loading assists self-regeneration of the injured heart by increasing cell proliferation, inhibiting cell apoptosis, and inducing stem-cell recruitment	Ryo Suzuki	第一外科
Stem Cells	Analysis of the origin and population dynamics of cardiac progenitor cells in a donor heart model	Tao-Sheng Li	第一外科
American Journal of Physiology-Heart and Circulatory Physiology	Short-term pretreatment with low-dose hydrogen peroxide enhances the efficacy of bone marrow cells for therapeutic angiogenesis	Masayuki Kubo	第一外科
Cell Transplantation	Comparison of cell therapy and cytokine therapy for functional repair in ischemic and nonischemic heart failure	Tao-Sheng Li	第一外科
The Journal of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Long-term efficacy and safety of the intramyocardial implantation of autologous bone marrow cells for the treatment of ischemic heart disease	Tao-Sheng Li	第一外科

小計 8

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
American Journal of Physiology-Heart and Circulatory Physiology	Hypoxic preconditioning increases survival and angiogenic potency of peripheral blood mononuclear cells via oxidative stress resistance	Masayuki Kubo	第一外科
Oncol Rep. 2008 Jul;20(1):155-63.	Adoptive Immunotherapy for Pancreatic Cancer: Cytotoxic T lymphocytes Stimulated by MUC1-expressing Human Pancreatic Cancer Cell Line YPK-1.	Oka M	第二外科
Cancer Sci. 2008 Apr;99(4):659-65.	Translational microarray systems for outcome prediction of hepatocellular carcinoma.	Iizuka N	第二外科
Anticancer Res. 2008 Jan-Feb;28(1B):379-87.	Adoptive immunotherapy for pancreatic cancer using MUC1 peptide-pulsed dendritic cells and activated T lymphocytes.	Oka M	第二外科
Clin Cancer Res. 2008 Feb 15;14(4):1025-31	ID2 Expression is Associated with a Risk of Hepatocellular Carcinoma Progression.	Oka M	第二外科
Br J Cancer. 2007 Nov 19;97(10):1399-403.	Circulating cell-free DNA as a predictive marker for distant metastasis of hepatitis C virus-related hepatocellular carcinoma.	Oka M	第二外科
Surgery. 2007 Sep;142(3):376-83.	Functional evaluation of the grafted wall with porcine-derived small intestinal submucosa (SIS) to a stomach defect in rats.	Ueno T	第二外科
Clinical Endocrinology(Oxf) 2007 October31	2007 Effect of Progestins with Different Glucocorticoid Activity on Bone Metabolism	Ishida Y	整形外科
Technical note.J Spinal Disord Tech2007;20:296-301	Cervical hemilaminoplasty	Kato Y	整形外科
Arch Orthop Trauma Surg.2007 September 18	Primary reconstruction with digital ray transposition after resection of malignant tumor	Muramatsu K	整形外科

小計 10

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Plast Reconstr Aesthet Surg.2007;69(9):1013-8	Combined use of free vascularised bone graft and extracorporeally-irradiated autograft for the reconstruction of massive bone defects after resection of malignant tumour	Muramatsu K	整形外科
中部日本整形災害外科学会雑誌 2007;50:659-660	頚椎症性脊髄症の高齢者患者に対する手術的治療のタイミング	片岡秀雄	整形外科
Mycosis in press	A case of onychomycosis due to *Aspergillus sydowii* diagnosed using DNA sequence analysis.	Yumiko Takahata, Masataro Hiruma, Takashi Sugita, Masahiko Muto	皮膚科
British Journal of Dermatology in press	*Malassezia* flora in atopic dermatitis differs between adults and children.	Yumiko Takahata, Takashi Sugita, Masataro Hiruma, Masahiko Muto	皮膚科
British Journal of Dermatology in press	Quantitative analysis of *Malassezia* in the scale of patients with psoriasis using a real-time PCR assay.	Yumiko Takahata, Takashi Sugita, Masataro Hiruma, Masahiko Muto	皮膚科
Journal of Dermatology, in press	Necrotizing fasciitis of the leg due to *Photobacterium damsela*	Yoshitaka Nakamura, Miho Uchihira, Makoto Ichimiya, Kazumasa Morita, Masahiko Muto	皮膚科
Journal of Dermatology, in press	A case of purpura fulminans due to septicemia after artificial abortion.	Makoto Ichimiya, Yuko Takita, Michiya Yamaguchi, Masahiko Muto	皮膚科

小計 7

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Dermatology, in press	Expression of claudin in melanoma cells.	Kazumasa Morita, Naoko Morita, Kei Nemoto, Yoshitaka Nakamura, Yoshiki Miyachi, Masahiko Muto	皮膚科
The Bulletin of the Yamaguchi Medical School, in press	HSF1 is important for protection of mouse epidermal cells against heat stress.	Chie Nakamura, Yoshitaka Nakamura, Toshikazu Gondo, Eiichi Takaki, Mitsuaki Fujimoto, Sachiye Inoue, Akira Nakai, Masahiko Muto	皮膚科
Cancer Genetics and Cytogenetics	Haploinsufficiency of chromosome 8p22 may influence on disease-specific survival in prostate cancer.	Hideyasu Matsuyama	泌尿器科
Cancer Genetics and Cytogenetics	Overexpression of BUBRI is associated with chromosomal instability in bladder cancer.	Yoshiaki Yamamoto	泌尿器科
Clinical Medicine: Oncology	Metronomic outpatient-based chemotherapy with 5'-DFUR and low-dose cisplatin for conventional platinum-based chemotherapy-resistant advanced urothelial cancer.	Tomohiko Hara	泌尿器科
European Urology	Associations of single nucleotide polymorphisms in the vascular endothelial growth factor gene with the characteristics and prognosis of renal cell carcinomas.	Yoshihisa Kawai	泌尿器科

小計 6

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Oncology	Gain of 5p15.33 is associated with progression of bladder cancer.	Yoshiaki Yamamoto	泌尿器科
日本泌尿器科学会雑誌	過活動膀胱患者におけるα1受容体遮断薬の併用は生活の質を向上しうるか？—抗コリン剤(塩酸プロピベリン)単独群および抗コリン剤α1受容体遮断薬(ウラピジル)併用群間の多施設前向きランダム化試験—	松山豪泰	泌尿器科
Investigative Ophthalmology & Visual Science 48(3)1110-1118,2007.3	Stimulation of corneal epithelial migration by a synthetic peptide(PHSRN) corresponding to the second cell bindin site of fibronectin.	Kimura K	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science 49(1)125-132,2008.1	Role of JNK-Dependent Serine Phosphorylation of Paxillin in Migration of Corneal Epithelial Cells During Wound Closure.	Kimura K	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science 49(1)113-119,2008.1	Up-Regulation of Tight-Junctional Proteins in Corneal Epithelial Cells by Corneal Fibroblasts in Collagen Vitrigel Cultures.	Ko JA	眼科
Experimental Eye research 86(2)412-418,2008.2	Effects of Ambient Oxygen Concentration on the Proliferation and Viability of Cultured Human Corneal Epithelial Cells.	Yanai R	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science 49(2)565-571,2008.1	Delayed Disruption of Barrier Function in Cultured Human Corneal Epithelial Cells Induced by Tumor Necrosis Factor-α in a Manner Dependent on NF-κB.	Kimura K	眼科
Phytomedicine 15 358-366, 2008	Effect of Ninjin-yoei-to (Rensheng-Yangrong-Tang) on olfactory behavior after olfactory nerve transection	Aigo Yamasaki, Kazuma Sugahara, Tsuyoshi Takemoto, Takuo Ikeda, Hiroshi Yamashita	耳鼻咽喉科

小計 8

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本胸部臨床	細菌性肺炎	田中伸幸	放射線科
Magnetic Resonance Imaging	Small hyperintense hepatic lesions on T1-weighted images in patients with cirrhosis: evaluation with serial MRI and imaging features for clinical benignity	Ayame Shimizu, Katsuyoshi Ito*, Katsumi Sasaki, Minoru Hayashida, Masahiro Tanabe, Kensaku Shimizu, Naofumi Matsunaga	放射線科
J Comput Assist Tomogr	Inhalational lung injury due to nitrogen dioxide: High-resolution computed tomography findings in 3 patients	Nobuyuki Tanaka, Takuya Emoto, Tsuneo Matsumoto, Naofumi Matsunaga, Ryousuke Tsuruta, and David A. Lynch	放射線科
Magnetic Resonance Imaging	Small hepatocellular carcinomas in cirrhosis: differences in contrast enhancement effects between helical CT and MR imaging during multiphasic dynamic imaging	Minoru Hayashida, Katsuyoshi Ito, Takeshi Fujita, Ayame Shimizu, Katsumi Sasaki, Masahiro Tanabe, Naofumi Matsunaga	放射線科
J Vasc Intervent Radiol	Iodized oil accumulation in hypervascular hepatocellular carcinoma after transcatheter arterial chemoembolization: Comparison of imaging findings with CT during hepatic arteriography	Takeshi Fujita, Katsuyoshi Ito, Masahiro Tanabe, Shigenari Yamatogi, Hideko Sasai, Naofumi Matsunaga	放射線科

小計 5

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Endocrine Journal 55(3): 545-547 2008	Primary amenorrhea in a 18-year-old Japanese female with sensorineural hearing loss and anosmia :a new syndrome?	Yamagata Y, Maekawa R, Asada H, Tamura I, Taniguchi K, Taketani T, Miwa I, Matsuoka A, Tamura H, Sugino N.	産科婦人科
Reproductive Toxicology 25(3):291-303 2008	Melatonin and pregnancy in the human.	Tamura H, Nakamura Y, Terron MP, Flores LJ, Manchester LC, Tan DX, Sugino N.	産科婦人科
Journal of Pineal Research 44(3):335-340 2008	Fetal / placental regulation of maternal melatonin in rats.	Tamura H, Takayama H, Nakamura Y, Reiter RJ, Sugino N.	産科婦人科
Reproductive Medicine and Biology 7:91-103 2008	Angiogenesis in the human corpus luteum.	Sugino N, Matsuoka A, Taniguchi K, Tamura H.	産科婦人科
Oncology Reports 19(1) : 99-104 2008	Relationship between decreased expression of squamous cell carcinoma antigen 2 and E-cadherin in primary cervical cancer lesions and lymph node metastasis.	Murakami A, Nakagawa T, Fukushima C, Torii M, Sueoka K, Nawata S, Takeda O, Ishikawa H, Sugino N.	産科婦人科

小計 5

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Human Reproduction 23(2):285-289 2008	Different changes in resistance index between uterine artery and uterine radial artery during pregnancy.	Tamura H, Miwa I, Taniguchi K, Maekawa R, Asada H, Taketani T, Matsuoka A, Yamagata Y, Ishikawa H, Sugino N.	産科婦人科
Journal of Pineal Research 44(3):280-287	Oxidative stress impairs oocyte quality and melatonin protects oocytes from free radical damage and improves fertilization rate.	Tamura H, Takasaki A, Miwa I, Taniguchi K, Maekawa R, Asada H, Taketani T, Matsuoka A, Yamagata Y, Shimamura K, Morioka H, Ishikawa H, Reiter RJ, Sugino N.	産科婦人科
Journal of Reproduction and Development 53(5): 977-986 2007	Specise-related differences in the mechanism of apoptosis during structural luteolysis.	Sugino N, Okuda K.	産科婦人科
Vascular Lab 4(5):495-500, 2007	心臓:心臓大血管手術中の TCD/HITS モニタリング	石田和慶, 山下敦生, 松本美志也, 坂部武史	麻酔科蘇生科
Anesthesia & Analgesia 105(5):1397-1403, 2007	Tight glycemic control by insulin, started in the preischemic, but not postischemic, period, protects against ischemic spinal cord injury in rabbits	Daisuke Nagamizo, Shunsuke Tsuruta, Mishiya Matsumoto, Hiroaki Matayoshi, Atsuo Yamashita, Takefumi Sakabe	麻酔科蘇生科

小計 5

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J. Neurotrauma24(4): 745-752, 2007	Neurotoxic Effects of Exogenous Recombinant Tissue-Type Plasminogen Activator on the Normal Rat Brain	Hisaharu Goto	脳神経外科
J.Neurosurg106 : 638-645, 2007	Antitumor effects of vaccination with dendritic cells transfected with modified receptor for hyaluronan-mediated motility mRNA in a mouse glioma model	Takayuki Amano	脳神経外科
Neurosurgery 61(Operative Neurosurgery 2), 2007	De Novo Aneurysum Formation on middle cerebral artery branches adjacent to the anastomotic site of superficial temporal artery-middle cerebral artery bypass surgery in two patients: Technical case report	Tetsu Kurokawa	脳神経外科
Interventional Neuroradiology13 : 353-358, 2007	Transvenous Embolization for Dural Arteriovenous Shunt of the Cavernous Sinus～Comparison of Multi-Staged Transvenous Embolisation and Transvenous Embolization with Sinus Packing	S.Kato	脳神経外科
機能的脳神経外科 46(1) : 18-19, 2007	定位脳手術における"BenGun"法を用いたmicrorecordingの有用性	藤井正美	脳神経外科
Tumour Biol. 2007;28(6):350-7	A simple immunomonitoring procedure for mRNA-loaded dendritic cell therapy.	Hiura M, Ueno K, Suehiro Y, Hazama S, Oka M, Imai K, Hinoda Y.	検査部
ICUとCCU	気道熱傷に対するN-アセチルシステイン・ヘパリン吸入，肺内パーカッション・ベンチレーションの試み	金子 唯，鶴田良介，笠岡俊志，岡林清司，前川剛志	先進救急医療センター

小計 7

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Pharmacotherapy	Preemptive therapy in noneutropenic patients with Candida infection using the Japanese guidelines.	Ryosuke Tsuruta, Hidekazu Miauno, Tadashi Kaneko, Yasutaka Oda, Kotaro Kaneda, Motoki Fujita, Takeshi Inoue, Shunji Kasaoka, Tsuyoshi Maekawa	先進救急医療センター
日本救急医学会雑誌	救急車で搬送された山口県内熱中症患者の重症度に関する疫学調査	鶴田良介, 日高幸浩, 井上 健, 小田泰崇, 金田浩太郎, 笠岡俊志, 前川剛志	先進救急医療センター
山口医学	タンパク異化指標としての血中3－メチルヒスチジン;基準値および重度侵襲患者値の推移	山下 進	先進救急医療センター
日本臨床救急医学会雑誌	救命救急センターでの検討から得られた悪性症候群の診断法の問題点とその改善策	田中 亮, 鶴田良介, 藤田 基, 金子 唯, 金田浩太郎, 小田泰崇, 井上 健, 笠岡俊志, 前川剛志	先進救急医療センター
蘇生 27(1):55-59, 2008	経皮的気管切開術後に気管切開孔上部の狭窄を来した2例	筒井理仁, 小泉有美馨, 松田憲昌, 松本 聡, 若松弘也, 坂部武史	集中治療部
肝臓 48: 484-489, 2007	中国地方における急性肝炎の疫学的変遷	福本陽平, 岸本幸広, 前田直人 ほか	総合診療部

小計 6

雑　誌　名	題　名	発表者氏名	所属部門
日本産科婦人科学会雑誌 59 (10): 1808-1813, 2007	多胎妊娠の予防と管理　双胎間輸血症候群における胎児血行動態に基づいた治療戦略	中田雅彦	周産母子センター
現代産婦人科 56: 93-96,2007	妊娠初期に診断した body stalk anomaly の 1 例	村田晋, 中田雅彦, 三輪一知郎, 住江正大, 杉野法広	周産母子センター
小児科診療 70 (4): 603-608, 2007	新生児医療の進歩　後遺症なき生存をめざして　循環管理　双胎間輸血症候群(TTTS)に対するレーザー治療	中田雅彦	周産母子センター
医療情報学(2007 年)	多施設から得られた肝細胞癌およびその治療における効用値の検討	石田博, 井上裕二	医療情報部
医療情報学(2007 年)	肝癌における alpha-fetoprotein および des-gamma-carboxy prothrombin の診断特性 -systematic review	石田博, 井上裕二	医療情報部
Japanese Journal of Infection Dissease , 60,367-369,2007	Association between isolation sites of Methicillin-Resistant Staphylococcus aureus(MRSA) in patients with MRSA-Positive body sites and MRSA contamination in their surrounding environmental surfaces.	Oie S., Suenaga S., Sawa A., Kamiya A.	薬剤部
食品衛生学雑誌 2007 年 11 月	ミネラルウォーターの微生物学的評価	尾家重治, 神谷晃	薬剤部
(株)じほう 2008 年1月	薬剤師のための感染制御標準テキスト	尾家重治, 神谷晃	薬剤部
病院管理 (HOSPITAL ADMINISTRATION) 44(4):27-34,2007	病院薬剤師の疑義照会による結果に関する研究	恩田光子, 下堂園権洋, 折井孝男, 赤瀬朋秀, 石本敬三, 田中照夫, 飛野幸子, 武藤正樹, 池田俊也	薬剤部

小計　9

合計　102

（注）1　当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること（当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る）。

2　「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

（様式第 12）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病　院　長　　松　崎　益　徳
管理担当者氏名	総務課長　　山　口　一　利 医事課長　　伊　藤　哲　雄

			保管場所	分類方法
診療に関する諸記録	病院日誌		総務課	カルテは入院，外来別に，１患者１ファイル方式として，保存整理している。
	処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課	
	各科診療日誌、エックス線写真		各診療科	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿		総務課	
	高度の医療の提供の実績		医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績		学術研究部産学連携課 宇部地区研究支援室	
	高度の医療の研修の実績		総務課	
	閲覧実績		総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績		医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿		医事課 薬剤部	
	確規保則の第状９況条の２３及び第１条の１１各号に掲げる体制	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進室	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進室	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進室	

			保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第１条の１１各号に掲げる体制確保の状況	院内感染のための指針の策定状況	総務課	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課	
		従業者に対する院内感染対策のための研修のの実施状況	総務課	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全推進室 薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全推進室 薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手続書に基づく業務の実施状況	医療安全推進室 薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全推進室 薬剤部	
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ＭＥ機器管理センター	
		従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ＭＥ機器管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守器の実施状況	ＭＥ機器管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ＭＥ機器管理センター	

注）　「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

（様式第 13-2）

規則第９条の２３及び第１条の１１各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	㊒（ 2 名）・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	㊒（ 2 名）・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	㊒・ 無
・ 所属職員： 専任（ 1）名 兼任（ 1）名 ・ 活動の主な内容：(医療安全推進室) (1) 医療安全管理委員会から提案された医療安全業務の実施 (2) アクシデント及びインシデント報告の分析並びに再発防止策等の検討，提言 (3) 医療の安全管理に係る企画・立案及び広報，啓発 (4) リスクマネジャーとの連絡調整	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	㊒・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	㊒・ 無
・ 指針の主な内容： (1) 本院の医療事故防止及び医療の安全管理に関する総合的な体制整備等について (2) 医療事故防止のための安全管理及び医療事故発生時の対応に関すること (3) 医療の安全、事故等の防止に関する委員会の規程整	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年１２回
・ 活動の主な内容： (1) 医療事故の未然防止のための具体的方策・実施計画の策定 (2) リスクマニュアル，インフォームド・コンセントの整備・監修，リスクマネジャーの統括 (3) アクシデント・インシデント報告の分析，フィードバック (4) 医療事故防止のための職員研修の実施及び教育・指導 (5) 医療安全推進室から提言された医療安全に関する事項の検討	
⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年１９回
・ 研修の主な内容： (1) 医師、看護師及びコメディカルスタッフの全員を対象に，診療現場で生じる様々な事象を取り上げ，医療事故を未然に防ぐ講演会を２回開催した。 (2) 各診療科，看護部，各部の技師等リスクマネジャーの研修を定期的に月１回開催し，インシデント等を分析しながら教育・指導を行い，各リスクマネジャーが各部署にフィードバックを行った。 (3) 卒後臨床研修医に対し，基本的な安全管理に関し２回実施した。 (4) コメディカル・病棟クラーク・看護助手に対し，基本的な安全管理に関し１回実施した。 (5) １年目の看護師を対象に，医療の安全管理について振り返りの研修を１回実施した。 (6) 新規及び中途採用医師を対象に，本院で発生した事例を参考に安全管理に関し１回実施した。	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 （ ㊒・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 医療安全推進室において，アクシデント，インシデント報告について分析，検討を行い，委員会への報告，リスクマネジャー会議等での教育・指導を行った。	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	㊒・無

・ 指針の主な内容：
① 感染対策に関する基本的考え方
② 医療関連感染対策のための委員会の組織に関する基本的事項
③ 医療関連感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針
④ 感染症の発生状況の報告に関する基本方針
⑤ 医療関連感染発生時の対応に関する基本方針
⑥ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針
⑦ 本病院における医療関連感染対策の推進のために必要な基本方針

② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年１２回

・ 活動の主な内容：
以下の事項の審議を行う
① 感染の予防に関すること
② 予防対策実施の指導に関すること
③ 感染予防の教育に関すること
④ 職員の検診とその実施に関すること
⑤ 検診結果に基づく判定及び事後指導に関すること
⑥ 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること
⑦ 山口大学医学部附属病院感染制御室の管理及び運営に関すること

③ 従事者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回

・ 研修の主な内容：
①標準予防策、感染経路別予防策や手指衛生など病院感染対策のための基本的バリアプレコーションについて
②抗菌薬の適正使用に関連したこと
③職業感染対策について

④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況

・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ ㊒・無 ）

・ その他の改善のための方策の主な内容：
収集した各データや問題点をＩＣＴ会にて検討。対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議する。

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	㊀・無
② 従事者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回

・ 研修の主な内容：

研修日	対象者	研修内容	講師等
19.04.02	新任看護師	薬剤部の機構と運営	副薬剤部長
19.04.03	研修医	麻薬の取り扱いについて 処方箋の取り扱いについて	薬剤部長
19.04.26	新規（中途）採用医師等	くすりによる事故を起こさないために	副薬剤部長
19.10.16	新任看護師	臨床に役立つ薬剤に関するリスク管理	注射調剤主査

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手続書に基づく業務の実施状況

・ 手順書の作成 （ ㊀・無 ）

・ 業務の主な内容：

医薬品の採用・購入に関する事項

医薬品の管理に関する事項（麻薬等の管理方法等）

患者の持参薬歴等の収集方法，処方箋の記載方法

患者に対する与薬や服薬指導に関する事項

医薬品の安全使用にかかる情報の取り扱いに関する事項

他施設（病院等，薬局等）との連携に関する事項

④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ㊀・無 ）

・ その他の改善のための方策の主な内容：

（情報収集の方法）

薬品メーカー・製薬会社からの情報提供

薬剤師会等からの情報提供

インターネットを使用し，医薬品の安全使用のための情報収集

医療安全推進室と連携し，他病院の事故事例の収集

（改善のための方策の実施状況）

薬剤部より「薬剤部だより」「ＤＩ月報」を発行している。

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	㊀・無
② 従事者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年４４回

・ 研修の主な内容：
医療機器の有効性・安全性に関する事項
使用方法に関する事項
保守点検に関する事項
不具合等が発生した場合の対応に関する事項
特に法令上遵守すべき事項

③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・ 計画の策定 （ ㊀・無 ）

・ 保守点検の主な内容：
血液浄化装置、人工呼吸器、閉鎖式保育器、人工心肺装置、補助循環装置、除細動器、ライナック、ＲＡＬＳ
中央管理している輸液ポンプ、シリンジポンプ等並びに年間保守契約しているＣＴ等以外の機器は、修理時にスポットで実施している。

④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・ 医薬品に係る情報の収集の整備 （ ㊀・ 無 ）

・ その他の改善のための方策の主な内容：
情報の周知を図るとともに、安全使用の意識の向上を図るため、「ＭＥだより」や「医療機器安全ニュース」を発行している。